

高校生が農園取材 静岡県浜松市 ブログで発信へ



高林さんの説明で、シュンギクの水耕栽培を取材する浜松湖北高校の生徒（20日、静岡県浜松市東区で）

【静岡】県立浜松湖北高校の生徒が20日、浜松市東区の大規模な農業法人・森島農園を取材した。商業科の電子商取引の授業で取材し、撮影した写真や内容をコンテンツにまとめ、総合エネルギー会社・エネジンのホームページに掲載する。商業科の3年生40人

のうち、30人が電子商取引の授業を選択。同社の協力で地元企業を取材し、インターネットや印刷媒体で情報発信している。今回の取材は、エネジンと取引がある静岡県信連が仲介し実現した。森島農園は、小松菜を約3・5畝のハウスで周年栽培する他、5

畝の露地畑でキャベツなどの多品目の野菜を生産。稲も約25畝栽培している。

同日は生徒6人が訪れた。広報担当の取締役、高林千晴さん（44）が精米工場、小松菜の出荷調整作業、シュンギクの水耕栽培ハウスを案内。同法人のアイデア商品「らくらく防災ごはんセット」の使い方を実演した。

生徒はホームページ映える商品の撮り方を相談しながら写真を撮影した。今後、週1回の授業の中でブログに仕上げる。

エネジンは、企業の社会的責任（CSR）活動で同校に協力。ホームページで、生徒が作成した内容を紹介している。同法人の記事は12月ごろ掲載される見込みだ。